



京都 YWCA

3 2013

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

京都 YWCA 設立 90 周年を迎えて 世代を超えて受け継いでゆく「協働の場」

1923年3月に正式に設立された京都YWCAは、今年で90周年を迎えます。同年の9月1日には関東大震災が起り、第一次大戦後の、日本も世界も徐々に戦争に向かう時代の中で誕生しました。「YWCA」は19世紀に産業革命後のイギリス・ロンドンで過酷な条件下で働く女性たちを支えるために祈りと奉仕の活動が始まり、各国に広まったキリスト教の理念に基づく運動です。京都YWCAは設立以来、女性や青少年を力づける、時代に即した活動を続けてきました。

YWCAは女性の社会進出や発言の場が少なかった時代に先駆的な役割を果たしました。一方、現代は女性にとっても機会が増え選択肢が広がった時代です。そんな中でYWCAが果たすべき役割を考えると、多くの人が指摘する魅力、「受け入れ、成長させてくれる場」としてのYWCA的文化があります。YWCAは、一人ひとりが潜在力を開花させつつ互いの絆を育む場として大きな可能性を秘めており、これは今の社会で求められているものと言えます。

老若男女、クリスチャンもノンクリスチャンも、力を合わせることによって一人ではできない、社会を変え、社会にインパクトを与えることを実現していく多文化・多世代の協働の場として、これからもさまざまな人々と共に歩んでいきたいと思えます。

本号より京都YWCAの90年の歩みを大まかにたどっていききたいと思います。

設立までの道 (1918～1922)

1918年、第一次世界大戦が終わり、米騒動が起こった年に2人の米国人女性宣教師がYWCA本部から京都に派遣されました。京都のクリスチャン婦人や女学生たちが参加し、米国人の幹事(職員)たちの働きを得て、次第に日本人の幹事も育っていきます。英語、西洋料理、洋裁、聖書などのクラスが開かれ、女性たちに新しい学びの場を提供しました。1920年に設立委員会が発足し、夫君同伴のパーティや資金集めバザーなど、当時の日本では新鮮な方法によって京都の中に賛同者の輪を広げられました。

基盤を固めた時代 (1923～1935)

1923年3月24日に第一回総会を開き京都YWCAが正式に誕生しました(会員数300)。9月の関東大震災後に避難してきた人々のための救援活動を精力的に行いました。当時も電話交換手、看護婦、事務員、工場労働者などの職業婦人がいましたが、職場における地位が低く、社会における認識や支援もない時代でした。京都YWCAの活動はいわゆる家庭婦人が中心でしたが、有職婦人部を設けレクリエーション指導などによって働く女性たちを元気づけました。女子学生のための寮を吉田二本松に開き、英文タイプライタ科は多くの生徒を集めました。有職会員のための夏の休養所を比叡山山頂に完成させたりもしました。1928年に現在の地に移りました。しかし、満州事変や世界恐慌の中、外国人幹事の協力は断たれ、財政難に苦しみ募金に走り回りながらも、会館の所有権を得て1935年財団法人化しました。

(編集部)



1923年頃の洋裁のクラス



1924年頃の京都YWCAの職員

日本 YWCA 「南京を考える旅 2012」



侵華日軍南京大虐殺遇難同胞記念館

2012年の夏は熱く、政治の動きも激しく、東アジア、特に領土問題を巡り先行きがみえない緊張がありました。韓国からの留学生である私が、過去、現在、未来について考えている時に会ったのが日本 YWCA 主催の「南京を考える旅 2012」への誘いでした。2008年に参加した「ひろしまを考える旅」で得たものを、今回の旅にも期待して中国に行くのを決心しました。

「南京を考える旅 2012」は、歴史を正しく認識し、両国関係の問題点をよく考え合い、「歴史を鑑み、未来に向かう」という共同認識に基づくものです。日中の若い世代が文化交流を通して相互理解を深め、平和構築に向けて「自ら始めよう」と行動することの大切さを自覚することが目的です。テーマは「共

に平和の種を撒こう (We Sow the Seeds of Peace)」でした。

プログラム参加者は、中国各地の YWCA 会員・幹事 26 名、日本の YWCA の会員・幹事他 14 名の合わせて 40 名でした。一日目の午後に侵華日軍南京大虐殺遇難同胞記念館に行きましたが、その日は記念日の前日であり、リハーサルもあり、多くの見学者がいました。一番印象に残ったのは、当時の経験者の語りを残した記録テープの棚でした。その記念館には中国人のみならず占領側として南京にいた日本人の記録もありました。ナチのマークを利用して中国人の命を救ったドイツ人ラーベの故居にも行きました。ヨーロッパで多くのユダヤ人を殺したナチが日本人から中国人を助けたという話に、戦争のアイロニーを感じました。

私は日本社会にいる韓国人でもあり、多くの日本人と中国人の友達と接しています。緊張した政治の流れにいと私自身が歴史の真ん中にいることを実感します。今回の旅は、過去を考えさせ、現在を実感し、未来に向かっていくための、私にとって大事な経験でした。もし、皆様もこれから機会があれば「南京を考える旅」に参加してください。勇気をもって参加するあなたを心より応援します。

(張 善花)



3階分の高さの記録テープの棚

🎬 オススメです！

DVD

「ピナ・バウシュ 夢の教室」

～怖がらないで、踊ってごらん～

発売元：(株)トランスフォーマー



世界的なドイツの舞踏家ピナ・バウシュのもとに、ピナの代表的演目「コンタクトホーフ」を演じるために集まった地元ブッパタールのティーンエイジャー 40 人の成長の記録。

彼らは性格も家庭環境もバラバラで、ダンスを習った経験は誰一人いなかった。10ヶ月間毎週土曜日に猛特訓が行われ、慣れないダンスに恥じらい、弱音を吐いたりする少年・少女たち。ピナや指導するダンサーたちは彼らを優しく見守り、よく話し合い、細かい指導を行い、励ましを送った。そこには強制も暴力もなく、次第にお互いに対する尊敬と信頼が出来ていった。それぞれが自己を乗り越え、学び、成長し、最後に彼らによる名作「コンタクトホーフ」の公演を見た後、私は涙ぐむほど新鮮な感動を覚えた。

(坪野 えり子)

京都 YWCA にはこんな素敵な講師がいます。いっしょに学びませんか？

英語講師
ツキダ・ショーンさん

こんにちは、ツキダ・ショーンと申します。僕は半分イギリス人、半分日本人です。ロンドンで生まれ育ち、アートとデザインを勉強していましたが、昨年の1月に日本に来ることを決心しました。来日した理由は、わくわくすることに出会いたかったことと、自分の日本人としてのルーツを探りたかったからです。僕は今、日本語や日本文化、特に俳句、墨絵、書道などに魅せられています。



僕は英語を教えることと、イギリスの文化や習慣を生徒の皆さんと共有することをとても楽しんでます。日本にすることが楽しく、日本や日本文化を学びながら英語を教え続けたいと思っています。

「内部被曝を知る連続学習会 パート2」

福島健康相談会から

1月12日、日本キリスト教団東北教区の要請を受け、福島を中心に親子の健康相談を続けておられる大阪教区の医師である山崎知行さんにお話をいただいた。

放射能問題はおわっていないのに・・・

ICRP (国際放射線防護委員会)で公衆の線量限度となっている年間1ミリシーベルト(自然放射線を除く)はゆるすぎで、ECCR (放射線リスクに関するヨーロッパ委員会)からは年間0.1ミリシーベルトにするべきだという勧告がでてい

相談者の声、「心配しても良いですね」

相談会では、多量で止まりにくい鼻血、痰のからんだ長く続く咳、皮膚のトラブル、下痢、精神不安定、口内炎、のどの痛み、眼の下のクマ、左前胸痛などの訴えがある。すべてが放射線の影響であるという証明は難しいが、相談者の1/3に鼻血があるのは、医師として普通でないと感じる。将来への影響はわからないが、関係ないと言い切るのはいり過ぎであり、公害病の最初期に人々の訴えに取りあう人が誰もいなかったことと同じになってしまう。

短期間でも放射線の影響の少ない所に行くのは、それを考えなくてもすむという点でも大きな意義がある。地域社会では放射能のことはタブーになっている。相談会で「心配しても良いのですね」、「話を聞いてくださっただけでもうれしい」という言葉があった。感じるのは、こちらから相談者にかかる言葉はないということだ。診察を求められたことは一度もない。ただ福島の人にはわかってほしいと思っており、その人の話をしっかり聞き、その人と同じ心になるしかない。

(篠田 茜)

シリーズ 福島から京都に避難して (最終回)

西山 祐子

早いもので、3度目の311を迎えようとしています。6強の地震に遭って地震が止むまで祈りながら待っていたこと、断水に見舞われ水を求めてさまよったこと、そして、避難するか留まるのか真剣に悩んだこと。故郷を離れるさみしさ、避難後の安堵感、経済的に厳しい生活、そして京都に再避難してからのこと。振り返ると、様々なことが走馬燈のように頭の中をよぎります。最近では以前の絶望感を感じることや家に帰りたく涙を流すことも少なくなり、現実を受け止められるようになりました。

今願うことは、避難者も故郷に居住している人たちが思いをひとつに希望をもって生きていけること。そして我が故郷、福島県の再生を心から望みます。そのためには、それぞれの立場で分断しないことやお互いの立場を尊重して悲観や絶望ではなく期待と希望をもって前に進むこと、皆が真実を受け止め、知恵を出し合い、新たな気持ちで再生への道を見出すことが必要だと思うのです。

福島県民の歌の中で～嵐をこえて 雪崩に耐えて豊かなふるさと福島を作ろう～という歌詞があります。この苦境を予測していたような歌詞にあらためて驚きました。～こころあわせ、土の根絶やさずにあ、福島県～離れていても、ふるさととの再生を信じて、自分にできる限りを尽くして生きようと思えます。

どうか福島のことを忘れないでください。未だ放射線量のことを気にしながらも工夫して生活をしている人たちのこと、福島県にも線量が高いところと低いところがあること、復興のために頑張り続けている人たちがいること、家族とふるさとを守るため被ばくをしながら働き続けている作業員の方たちがいることを。彼らのおかげで日本がそして世界が守られていること。先祖代々受け継いだ農地を守ろうとあらゆる方法で除染をして元の農地に戻そうとしている農家の方のこと。忘れないでください。そして、福島再生のためにみなさんの力を貸してください。ともに、福島の今をそして未来を考えてください。



KBS ラジオの妹尾和夫さんと遠藤奈美さんと (筆者中央)。1年8ヶ月振りに番組に出演。避難者の現状や今度の活動「みんなのカフェ」のことについて話す。

今後のプログラム

「シェーナウの想い」映画上映会

～脱原発を実現させたドイツの村の話～
3月3日(日) 14:00-16:00 参加費 500円

まるごとアジア第4弾

～知ろう・食べよう・プチ台湾体験～
3月9日(土) 10:00-13:00
台湾の留学生から台湾のお話を聞いて、餃子を作ります♪
◆対象：小学1年～6年生
◆定員：15名程度、要申込
◆参加費：500円/人(餃子付き)

APT 研修会

3月10日(日) 13:00-15:00 コミュニティ通訳者の心構え
講師：飯田奈美子さん(コミュニティ通訳者)
3月23日(土) 13:00-15:00 相談者に対する

心構え

講師：竹之下雅代さん(ウィメンズカウンセリング京都)

全国 YWCA ユース交流会 1泊2日

3月23日(土)～24日(日)
・YWCA オリエンテーション
・ディベートワークショップ
・プチアクションプラン作成等
ユースの参加者募集中
◆参加費：5,000円/人(1泊2日2食付き)
◆会場：京都 YWCA
事前申込み要、詳細は事務所まで。

福島の親子来京プログラム

3月28日(木)～4月1日(月)
子どもたちはキャンプ場へ、大人達は京都でゆっくり過ごしていただきます。
・3月28日(木)：ウェルカムパーティー

・4月1日(月)：フェアウェルパーティー
協力者(ボランティア)大募集中!

京都 KIDs 春休み居場所プログラム

●小学生キャンプ
3月29日(金)～31日(日) 2泊3日
「世界を知ろう!友達を知ろう!自分を知ろう!」
●小学生キッズデイアウト
4月2日(火)～5日(金)
毎日9:30開室 10:00-17:00終了 18:00閉室

大人の修学旅行

<京都の中の朝鮮ゆかりの地を巡る旅パート2>
今回は京都市東部の日朝の歴史に関わる地を講師と共に訪ねます。
4月21日(日)

ご寄付ありがとうございました。
敬称略(2012年12月1日～2013年1月31日)

*一般寄付
(クリスマス・ニューイヤー募金)
荒垣加津子、伊藤美子、北垣景子、山村茂代、伊村喜久子、鍛冶富美子、上村愈巳子、高橋正子、田淵豊子、坪野えり子、寺島順子、中村和雄、松井郁子、織田雪江、勝山久仁子、宮川文子、狭間紀美子、畠中隆子、中原和子、清水義、メンテイクマサ、同志社女子高等学校、上田理恵子、岡佑里子、山本知恵、井上依子、匿名1名

各指定寄付
*東日本大震災被災者支援
北垣景子、篠田茜、平野富希、文田則子、宮武美知子、ノートルダム修道女会、日本キリスト教団京都丸太町教会祈禱会、福島YWCA、被災者支援委員会有志、井上依子、匿名1名

*ミニホール・キッチン改装
有田孝子、池上信子、川崎愛、中村美智子、山本千鶴、北垣景子、吉田千里、山本知恵、井上依子、上田理恵子

*親・子どもの育ち支援委員会
木戸さやか、北垣景子、平野富希、上田理恵子

*APT
安藤いつみ、宇山進、神岡茂子、近野玲子、金児明子、児玉五十美、勝西伸之、

上原従正、上島良彦、上内英子、上内鏡子、北垣景子、北垣由民子、北村保子、木戸さやか、篠田茜、杉山知子、杉勝利、菅原充子、西原美那子、大西澄子、中村尚司、林律、宮崎玲子、きょうとユニオン、ヌヴェール愛徳会本部修道院、ヌヴェール愛徳修道会深草修道院、ヌヴェール愛徳修道会地区本部事務局、ノートルダム教育修道女会、希望の家カトリック保育園、京都・東九条 CAN フォーラム、同志社中学校、永井靖二、嶋川まき子、石井ゆき、同志社女子大学宗教部、小澤亘、蒔田直子、北垣由民子

*国際委員会
篠田茜、筒井奈都子、池上信子、川崎愛、北垣景子、井上依子、竹中克彦

*平和委員会
神門佐千子、弘中奈都子(スウォン YWCA 交流)

*次世代育成
石田法子、羽田野進一、北垣景子、木戸さやか、平岩ともり、吉村千恵

*カフェ
篠田茜

*賛助金
近藤純弘

京都 YWCA 第 91 回 定期会員集会

3月20日(水・休) 10:30-16:30

◆主題：私をあなたの平和の道具にしてください
～聖フランシスコ会の「平和の祈り」～

◆場所：京都 YWCA ホール

手作りのぱんやさん

キートス

北欧 フィンランドのパンをご家庭に・・・

京都市中京区壬生坊城町33ケラデール朱雀002

TEL・FAX：075-842-0585

URL：http://www.5a.biglobe.ne.jp/~kitos/

毎週木曜日、京都 YWCA に入荷。

受付で販売♪

1月・2月/理事会報告

- 平和委員会：スウォンYWCAとの交流日程決定：2013年7月26日(金)～29日(月)
- 人事部：堀部碧さん採用(2013年4月1日付)
- 東九条多文化交流ネットワークサロンの「春まつり」4/13(土) 出店予定
- 他団体賛同承認
- *3/17(日) チェルノブイリ・フクシマのつどい(於：ハートピア京都)
- *4/6(土) JOCS(日本キリスト教海外医療協力会) ウォーカーソン
- 全会集会(プログラム) 予定
- *イースター集会：4/6(土) 15:00-16:30<礼拝とティーパーティー>
- *世界YWCA会員日集会：4/20(土) 15:00-か4/27(土)
- 2012年度決算見込み確認と2013年度予算案を協議

KYOTO YWCA No.513

2013年3月号(3月1日発行)

発行人 上村愈巳子
発行所 一般財団法人京都YWCA
京都市上京区室町通水上ル
電話 (075)431-0351 FAX (075)431-0352
e-mail office@kyoto.ywca.or.jp
URL http://kyoto.ywca.or.jp
郵便振替 01080-9-1566
口座名義 (財)京都YWCA
定価 50円